

## 「卒業、そして桜」

中津市長 奥塚 正典

季節は移ろい春本番。小学校、中学校、看護学校の卒業式にそれぞれ出席しました。思い出がいっぱい詰まった学校、先生、友人との別れあり涙ありで、こちらもジーンときます。でも涙の後は笑顔、充実した学校生活だったのだと思います。

卒業式を英語ではコメンズメント（Commencement）と言い、その意味するところは意外にも「終わり」ではなく「始まり」です。したがって、卒業式は新しいスタートを祝福していることとなります。ご家族には、それぞれに感慨深いものがあるでしょう。大きく成長した子どもの姿に喜び、将来への強い願いが感じとられます。人生の一つの節目を迎えた皆さんにこれからの幸せを願わずにはいられません。本当におめでとうございます。

さて、この時期、咲き始めるのが桜です。見事なばかりの咲きぶりで一面ピンクに染めますね。桜の花はいろいろなことを人に語りかけているような気がします。「また春が来たね」「おめでとう これからも頑張れよ」「遠くに行ってもここを忘れないで」「つらいことがあったら私を思い出して」などなど、人それぞれの人生の出立に勇気や気力を与えてくれているのではないのでしょうか。

大貞公園も、八面山も、青の洞門も、耶馬溪ダムも、猿飛千壺峡も、あらゆる所で、春夏秋冬を何度も乗り越えた桜の花が、皆さんのこれまでの足跡を見つめ、皆さんの成長を祝い、中津に春の訪れを告げます。そしてそれぞれの人生に寄り添ってその時々を思いを深めてくれます。



卒業生の皆さん、人生の新しいステージで元気にスタートを切る今、青空をバックにした満開の桜を見上げてみてはいかがでしょうか。桜が何か語ってくれるかもしれません。たとえ今は何も聞こえなかったとしてもきっといつの日かその声が届きますよ、懐かしい思い出とともに。